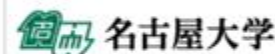
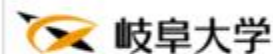


# 国立大学法人東海国立大学機構 岐阜大学 【文部科学省 B P 認定・履修証明プログラム】 生産システムアーキテクト・リーダー育成プログラム

令和5年度 Ver0.9



航空宇宙生産技術開発センター  
INTELLIGENT PRODUCTION TECHNOLOGY RESEARCH & DEVELOPMENT CENTER FOR AEROSPACE



# 岐阜大学の社会人リカレント教育プログラム

最先端の航空機生産技術の習得による、地域技術者のスキルアップを目指し、企業ニーズに応じた生産技術を、科学的・体系的に学べる 3つのコースを提供

生産システムアーキテクト・  
リーダー育成プログラム

PAL 育成講座

【文部科学省BP認定】

【履修証明プログラム】

- ✓文部科学省「職業実践力育成プログラム（BP）」認定講座
- ✓修了者には学校教育法に基づき岐阜大学から「履修証明書」を交付
- ✓大学院自然科学技術研究科の授業「航空宇宙生産技術（製造技術特論）」の一部と、短期集中コースを核とした、合計60時間以上の教育
- ✓最先端機器を利用した実践教育により、社会人の生産システムアーキテクトとして、企業の若手リーダー、将来の幹部候補を育成

短期集中コース

- ✓企業ニーズに合わせた短期集中型の教育
- ✓品質工学や経営工学、原価等の講義とともに、最新のAI、IoT、データサイエンス等に関する講義と実習を実施
- ✓公設試験研究機関とも連携、他産業への展開も見据えた講座を一部実施

生産技術選択コース

【科目等履修制度】

- ✓工学部及び大学院自然科学技術研究科で開講する講義をネットワーク大学コンソーシアム岐阜を通じて提供
- ✓社会人修士・社会人博士就学時に修了単位として認定（一部）

# 「生産システムアーキテクト・リーダー育成プログラム」について

文部科学省「職業実践力育成プログラム（B P）」は、大学等における社会人や企業等のニーズに応じた実践的・専門的なプログラムを文部科学大臣が認定し、受講を通じた社会人の職業に必要な能力の向上を図る機会の拡大を目的としています。

生産システムアーキテクト・リーダー（PAL）育成講座は、社会人の生産システムアーキテクトとして企業の若手リーダーや将来の幹部候補の育成を目的としたものです。

- 1) 最先端の製造業を学ぶ座 学科目：経営、原価、品質、製造業DXなどの座学科目において、第四次産業革命で必要とされる基本的考え方や知識を修得
- 2) 生産システム構築を実習する「製造技術特論」：電動模型飛行機の自動組立ライン装置を用いて、ロボット操作やPLCのプログラミング、工程管理や工程設計を修得
- 3) 将来構想を討論・発表する「未来産業ビジョン形成」：学んだ座学や実習及び自分の経験を繋ぎ合わせ、10～15年後の社会人リーダーとしてのビジョンを討論・発表

各科目は、学術研究を専門とした大学教員のみならず、企業経験豊富な大学教員や航空業界、自動車業界等の技術者が最先端の講義を展開しています。

また、PAL 育成講座は令和3年度より岐阜大学の履修証明プログラムとして、社会人の学び直し場として開講しています。

PAL 育成講座で学んだ受講生たちは、中堅・中小製造業を含むものづくり企業の活性化、DX推進、及び地方創生に寄与します。



[教育講座の文科省認定にあたり  
航空宇宙生産技術開発センター長  
が語った抱負](#)

「国際競争が激化し、これまでのやり方を続けていては日本は生き残れない。岐阜から国内の産業を大きく変えていかなければ」

## 1. 生産システムアーキテクト・リーダー育成プログラムの目的と意義

日本の国力を担う中堅・中小「製造業」は、21世紀の業容変革をリードできる優秀な若手育成が求められています。そこで、東海地方とりわけ岐阜県製造業の、30歳前後 原則大卒以上の若手リーダー、将来の幹部候補を対象に、以下を養成すべく本プログラムを開講します。

- ① 俯瞰的な視野で実務を推進できる能力
- ② 将来構想を立案できる能力

## 2. プログラムの概要と科目構成

座学・討論・実習を通じた総合的・実践的な学びにより、第4次産業革命時代のリーダーとしての能力を養います。自由選択科目と必須科目を含む総時間数は72.5時間、必須科目は62時間です。各年度の後期開講（10月～3月）します。

座学：経営、原価、品質、設計思想、DX（コンピュータ、IoT、AI）  
多方向討論と実習：航空生産技術をモチーフにして、工程設計を実習  
多方向討論と課題発表：自分の未来産業ビジョンを形成して発表

## 3. 社会人リカレント教育プログラムとしての認定や指定

岐阜大学 履修証明プログラム、文科省職業実践力育成プログラム（B P）認定、厚労省教育訓練給付制度指定（予定）

### 履修証明プログラムとは

平成 19 年の学校教育法の改正により、大学等における「履修証明制度」が創設されました。大学等において、通常の学生を対象とする学位プログラムに加え、社会人等の学生以外の者を対象とした一定のまとまりのある学習プログラム（履修証明プログラム）を開設し、その修了者に対して法に基づく履修証明書を交付できることになりました。各大学等において、社会人等の多様なニーズに応じた様々な分野の学習機会が積極的に提供されることが期待されています。

## 4. 募集人数

- ・ 15 人（岐阜大学航空宇宙生産技術開発センターでの対面受講の人数）

## 5. 受講料

- ・ 25 万円
- ・ 岐阜県に事業所を設置している企業に勤務する者は、受講料の半額の割引が受けられます。
- ・ 厚労省給付制度（職業実践力育成プログラム）が利用できる場合がありますので、生産システムアーキテクト・リーダー育成プログラム事務局までお問合せください。

## 6. 受講申請資格

岐阜大学大学院自然科学技術研究科の履修証明プログラムとして実施されるため、申請者は下記の①～⑧のいずれかに該当する必要があります。

- ①日本の大学を卒業した者
- ②学校教育法第 104 条第 4 項の規定により学士の学位を授与された者
- ③外国において、学校教育における 16 年の課程を修了した者
- ④外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより、当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了した者
- ⑤我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者
- ⑥専修学校の専門課程（修業年限が 4 年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者
- ⑦文部科学大臣の指定した者（昭和 28 年文部省告示第 5 号）
- ⑧短期大学、高等専門学校、高等学校、専修学校及び各種学校等を卒業した技術者で、本研究科において、個別の受講資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者

※⑧に該当する申請者については、別途、資格審査（面接）を実施します。面接時間等は個別に連絡します。

## 7. 問い合わせ先

〒501-1193 岐阜市柳戸 1 - 1 岐阜大学航空宇宙生産技術開発センター  
生産システムアーキテクト・リーダー育成プログラム事務局  
E-mail: [ipteca-recurrent@gifu-u.ac.jp](mailto:ipteca-recurrent@gifu-u.ac.jp)

# 「生産システムアーキテクト・リーダー育成プログラム」科目表

分類	科目名	授業の形式	日程	講師氏名（現在の所属）【実務経験年数】	時間数（h）	狙い
必修	導入ガイダンス	対面 + オンライン・ライブ	令和4年度後期開講 (令和4年10月～令和5年3月までに開講予定)	・航空業界、自動車業界等の製造業の技術者 ・企業経験豊富な大学教員 ・学術に詳しい大学教員	1.5	カリキュラムの位置づけを説明する。 双方向議論の場を設定して受講生を動機付けする。
自由選択	経営の基礎	対面 + オンライン・ライブ			1.5	前編：経営とは何か、その本質について学ぶ。
		対面 + オンライン・ライブ			1.5	後編：業界（航空・自動車・電気）を俯瞰しつつ、リーダーとして体得してほしい経営の事例を学ぶ。
自由選択	コストの基礎（旧 原価の基礎）	対面 + オンライン・ライブ			1.5	製造業におけるコストの基礎、原価の基礎について体系的に学ぶ。
必修	品質の基礎	対面			3	製造業における 経営からみた品質マネジメントの本質について体系的に学ぶ。
自由選択	製品の設計思想	対面 + オンライン・ライブ			3	移動手段が異なる「航空機」と「自動車」を例にとり、空気力学の観点から、その形状に至る必然性、設計思想の違いを学ぶ。
自由選択	製造業DX：コンピュータ	対面 + オンライン・ライブ			1.5	製造業を変革するDXとして、コンピュータの基礎と産業応用について学ぶ。
自由選択	製造業DX：IoT	対面			1.5	製造業を変革するDXとして、製造におけるIoT, Cyber-Physical Systems, Digital Twin について体系的に学ぶ。
必修	製造業DX：人工知能	オンライン・ライブ			1.5	全編：製造業を変革するDXとして、製造における人工知能（製造業における機械学習）について体系的に学ぶ。
		オンライン・ライブ			3	後編：製造業を変革するDXとして、製造における人工知能（深層学習の基礎、深層学習を使った応用）について体系的に学ぶ。
必修	製造技術特論	対面 + オンライン・ライブ (グループワーク) (実習・多方向討論)			50	工程計画を立案し、装置を動かす、ロボット、PLC、QC工程表を使って問題改善を行い、模型飛行機自動組立装置の工程設計を体験学習する。
必修	未来産業ビジョン形成	対面 (多方向討論・課題発表)			3	学んだ 座学 や 実習、及び自分のポジションや経験を繋ぎ合わせて、10～15年後の日本の産業界の姿を予測し、社会人リーダーとしてやるべきビジョンをまとめて討議・発表する。
	総時間数（内数は必修）					

(注1) センターとは、岐阜大学 航空宇宙生産技術開発センターを指します。

(注2) 対面授業は、センター内のセミナー・エリアで行います。

(注3) 必須科目・選択科目によらず、単一科目の申込と受講が可能です。

(注4) オンライン・ライブがある授業は、オンライン参加が可能です。

(注5) 必修科目を全て受講し合格した人は、岐阜大学から「履修証明」が交付されます。

(注6) 講師の都合により若干日程が変更になる場合があります。

# 「製造技術特論」の概要

- 電動模型飛行機の自動組立ライン装置を活用して、工程管理・工程設計の講義と実習、ロボット操作やPLCのプログラミング演習を学ぶ
- 社会人・学生混成グループ、あるいは社会人グループによる多方向討論や協同作業



# 会場アクセス

交通アクセス | 国立大学法人東海国立大学機構 岐阜大学 (gifu-u.ac.jp)

キャンパス
Campus

## ■ 建物配置図

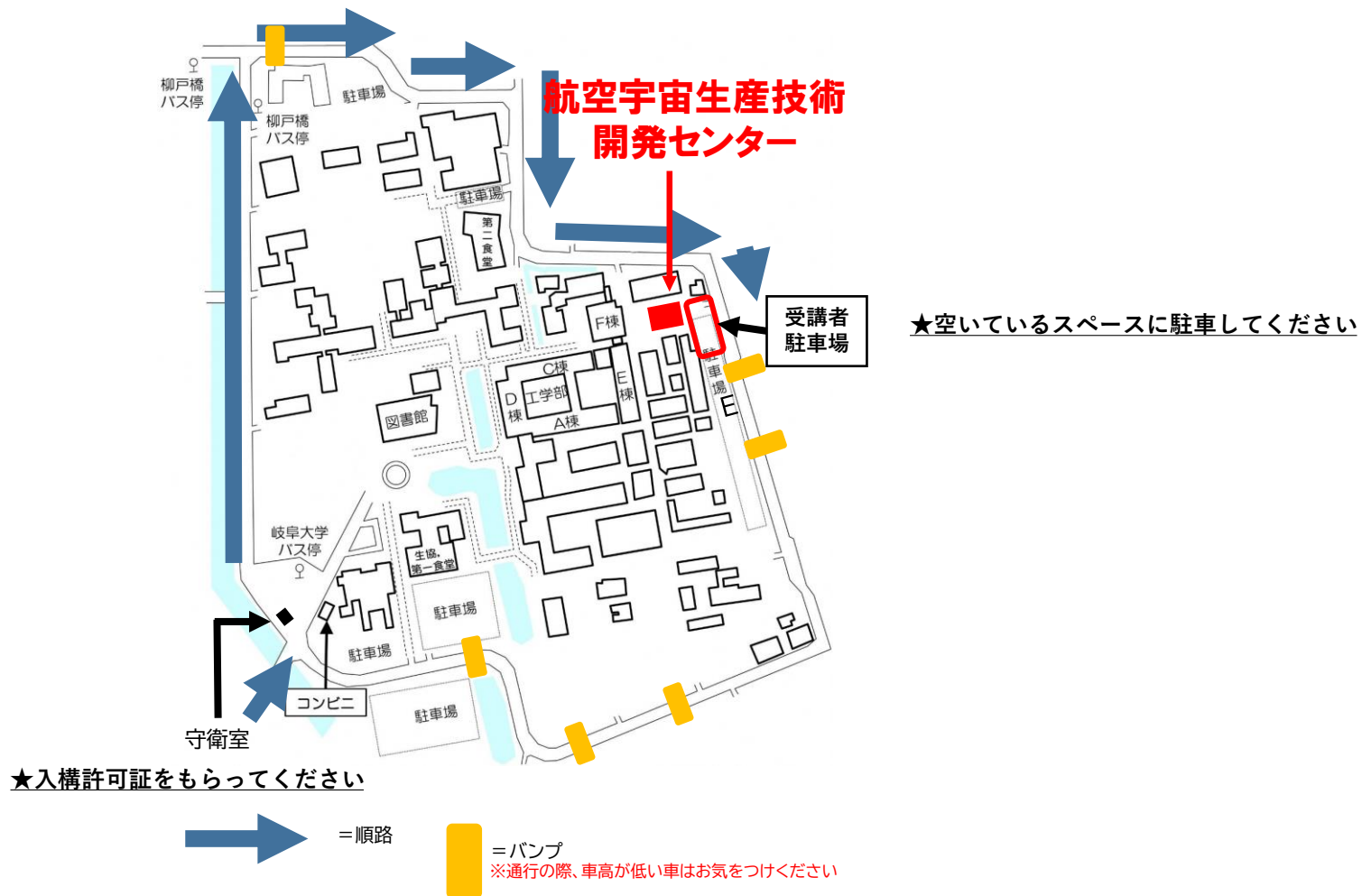
2021年5月1日現在

<ol style="list-style-type: none"> <li>1 大学本部</li> <li>2 教育学部</li> <li>3 美術・技術棟</li> <li>4 音楽棟</li> <li>5 保健体育棟</li> <li>6 附属特別支援教育センター</li> <li>7 地域科学部</li> <li>8 医学系研究科・医学部</li> <li>9 医学部生命科学棟</li> <li>10 医学部教育・福利棟</li> <li>11 医学部記念会館</li> <li>12 医学図書館</li> <li>13 医学部看護学科</li> <li>14 医学教育開発研究センター</li> <li>15 附属地域医療医学センター</li> <li>16 医学部附属病院</li> <li>17 工学部</li> <li>18 機械系第1実験棟</li> <li>19 機械系第2実験棟</li> <li>20 機械系第3実験棟</li> <li>21 化学実験・実習施設棟</li> <li>22 防災工学実験棟</li> <li>23 土木系実験棟</li> <li>24 高電圧実験棟</li> <li>25 機械工場</li> <li>26 ものづくり技術教育支援センター</li> <li>27 附属インフラマネジメント技術研究センター</li> <li>28 応用生物科学部</li> <li>29 農場管理棟</li> <li>30 附属岐阜フィールド科学教育研究センター</li> <li>31 附属動物病院</li> <li>32 附属野生動物管理研究センター</li> <li>33 附属共同産学教育開発推進センター</li> <li>34 附属家畜衛生地域連携教育研究センター</li> <li>35 社会システム経営学環</li> <li>36 大学院連合農学研究科</li> <li>37 大学院連合獣医学研究科</li> <li>38 図書館</li> <li>39 総合研究棟Ⅰ</li> <li>40 総合研究棟Ⅱ</li> <li>41 教育推進・学生支援機構</li> <li>42 全学共通教育講義棟</li> <li>43 学術研究・産学官連携推進本部</li> <li>44 高等研究院</li> <li>45 地方創生エネルギーシステム研究センター</li> <li>46 地域連携スマート金型技術研究センター</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>47 連続生命コア研究所</li> <li>48 Gu コンボジット研究センター</li> <li>49 地域防災研究センター</li> <li>50 復生物産伝資源保存センター</li> <li>51 ユニバーサル動物園</li> <li>52 <b>岐阜市畜産産技術開発センター</b></li> <li>53 環境科学研究センター</li> <li>54 科学研究基盤センター (ゲノム研究分野)</li> <li>55 科学研究基盤センター (機能性園研究分野)</li> <li>56 科学研究基盤センター (動物実験分野)</li> <li>57 科学研究基盤センター (機器分析分野)</li> <li>58 科学研究基盤センター (AI実験分野)</li> <li>59 岐阜県食品科学研究所 (3 階岐阜大学産学連携活動エリア)</li> <li>60 インフラミュージアム</li> <li>61 情報連携統計本部 (情報館)</li> <li>62 グローカル推進機構</li> <li>63 日本語・日本文化教育センター</li> <li>64 教育学部附属学習協創開発研究センター</li> <li>65 地域協学センター</li> <li>66 保健管理センター</li> <li>67 大学会館</li> <li>68 国際交流会館</li> <li>69 榊戸会館</li> <li>70 栗野寮</li> <li>71 保育園ほほえみ</li> <li>72 講堂</li> <li>73 体育館</li> <li>74 武道館</li> <li>75 第二体育館</li> <li>76 第二食堂</li> <li>77 岐阜医科大学校舎</li> <li>78 岐阜健康長寿・創薬推進機構 (7 階)</li> <li>79 大学院連合創薬医療情報研究科 (6 階)</li> <li>80 清流の国ぎふ防災・減災センター</li> <li>81 陸上競技場</li> <li>82 野球場</li> <li>83 サッカー場</li> <li>84 ラグビー場</li> <li>85 テニスコート</li> <li>86 バスケットボールコート</li> <li>87 バレーボールコート</li> <li>88 ハンドボールコート</li> <li>89 プール</li> <li>90 弓道場</li> <li>91 馬場</li> <li>92 コンビニエンスストア</li> </ol>
---	---





## 自家用車を利用する場合





岐阜大学



名古屋大学

航空宇宙生産技術開発センター  
INTELLIGENT PRODUCTION TECHNOLOGY RESEARCH & DEVELOPMENT CENTER FOR AEROSPACE

東海機構 航空宇宙生産技術

H P : <https://www1.gifu-u.ac.jp/~ipteca/>E-mail : [ipteca@gifu-u.ac.jp](mailto:ipteca@gifu-u.ac.jp)

T E L : 058-293-3714 (代表)